

おおやまと

大倭出版局・大倭紫陽花邑

平成14年
10月号

毎月23日発行
通巻386号

(題字 矢追日聖)

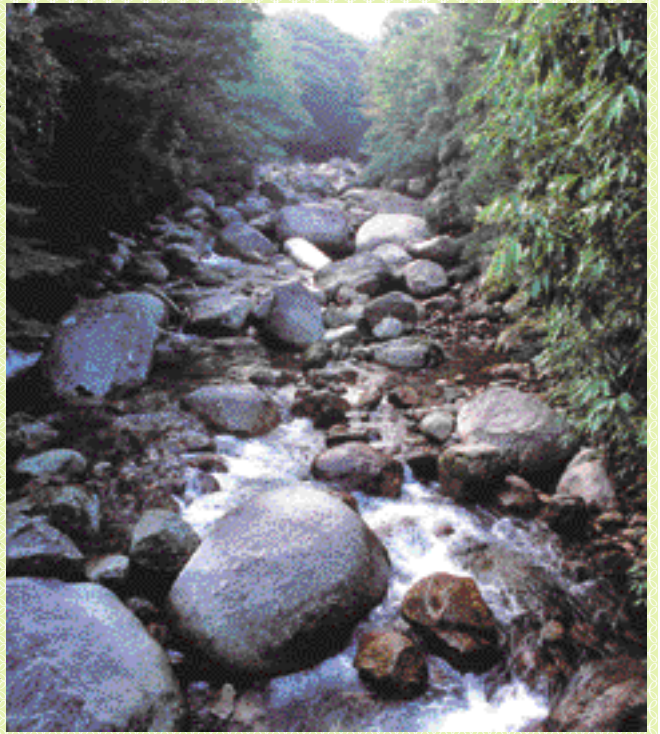
★発行日 平成14年10月23日
★発行所 大倭出版局
〒631-0042 奈良市大倭町1の12
電話 (0742)44-0015
★印刷 大倭印刷
★定価 1部 250円
年間購読料3,000円(送料共)
★振替口座 01050-6-67002
大倭出版局
URL <http://www.ohyamato.jp>



白川の流れ



推定樹齢三千年の杉の大株(ウイルソン株)



屋久島にて 福井市・齋藤正宏さん撮影(文・6頁)

大倭病院職員座談会

肉体のない心の世界 (下) ——法主様に聞く

平成2年11月 大倭会館にて

毎日の生活の中で修養する

法主 結局、個人個人が身近なところで、自分の先祖さんと交流することが一番大事やねん。戦争で死んだ人の場合は特別にお参りしてあげないかんのやで。お墓に参るのも結構やしね。けどね、ただお経あげたら良いのちがうんや。坊さん自身、霊界のこと分かる人はあまりおらんわ。

あんた達も聞いたから言うて、私の話が理解できてないと思うけれど、聞くだけで結構やねん。まあ霊界のことなんて理解できることあらへん。私も体験していることを話してだけやしね。他にも体験している人があれば、またその人なりの考え方を持っているやろし。

平和にいきたいと思ったら、やつぱり自分自身の心が平和にならないとあかん。死んだ後、心の世界になった時に苦しまないようないこうと思ったら、今の生きている間に修養することや。

修養いうたかてね、分かりやすく言うたら、腹の立てない人間になること。それが一番身近やわな。どんなことがあつたかて腹の立てない、それができたらたいたしたもんや。

人間には生まれつき喜怒哀楽がある。

もう加美さんが授けてはるんやわな。みんな持つてるんやけれど、その中で怒るとか腹立てることは、できるだけ抑えて抜くようにしたらええ。私でも、人の腹立てることを理解できるということは、自分にも腹の立てるものを持つてるとい

うことや。けど、その割に今日まで腹の立てた経験がないんや。

これはまあ、ものの解釈次第で、同じことでも腹を立てることもあらへんのや。

普通、あんた達が腹立てるのはどんなことやろ。一つにはね、やはり優越感とか劣等感とか、そんながあるから腹立つんやと思う。馬鹿にされたとか何とか言うてやね。けれど叩かれりや痛いけど、口で何を言われたかて痛いことも痒いこともあらへんのやからね(笑)、問題にせんといたらええ。ところが、それを受け止めて問題にするから、腹立つてくる、ケンカしとうなつてくる、最後に仕事も嫌になつてきたりする。あの人がおるから嫌やとか、そんなこと言うのはたいてい女の人やなあ(笑)。何で人のせいで自分自身を左右させられるのや。考えてみよ、情けないことやで。仮にどんなイケズがおつても一緒におつたら良いんや。人間というのはお互い心と心が通じたら、どんな人でも仲良うなつていけるはずや。それがあまりにも自分というもの、自我が強過ぎると、やつぱり調和しにくいんやわな。本質的に悪い人間というのはおらへん。喜怒哀楽を持った、同じ人間同士や。善い悪いの分別は、仮に人殺しする人でも誰でもみんな持つてる、人を殺すのは悪いと知つてるんやで。

だから自分の毎日の生活の中で、修養したら一番ええんやな。

肉体に霊が入る現象の話

肉体の持つている人間の社会と肉体の持たない人間の社会、これが霊の世界やな、この二つがあることを覚えておいてほしいと思う。

そういうことが、はつきり分かるような笠井久枝さんという女の人の話があつてね、あれには私

もびつくりしたわ。本人は、寝たきりの病人さんやねんで、自分で自分のことできへん、言語障害もあるし目もよう見えてへん。ところが、その人一つに霊魂が入つたらね、もう起き上がるし、辞典の細かい字でも読むし、はさみと紙で観音さんやとかの切り絵をきれいに作る。それ、預かつてきているけど。

その人の相談があつた時、姫路やつたかいな、柴地(則之)も一緒に、その家へ行つたんやな。もう来るのが分かつてたんか、ちゃんと座つて出迎えて挨拶してくれるんや。けど、ちよつとのこと霊が抜けたらね、ふにやふにやつと死んだみたいになんねん。

鈴月かあさん この道を通つて、どこそこで迷つたやろつてちゃんと言ふねんで。

A 自分自身で変わろうと思つて変わらるんですか? 念力とか?

法主 本人の意思はあらへん。霊魂の方が必要な時に勝手に入るの。

私が、そこへ行つてゐる間に、入つてたのはお爺ちゃんの子供——坊、坊つて呼んでた——の二人が入れ替わつてたわ。一人が入つていたら一緒に入れへん、体が一つやから。お前、早よ出よとか、言い合ひしてるんや(笑)。

かあさん 弟さんの家族が近くにはるんやけど、奥さんも仕事してはるんや。二十四時間介抱が要るような寝たきりやのに、逆にその小さい女の子のお守りまでしてんの(笑)。

法主 あれはもう、日本の中でも珍しいケースとちがうか。どない解釈せんなんのやろ。

柴地でもまだ若い時分やもの、霊がどうとか、もう一つ信じておらへん。けど事実を目で見て、

気持が変わつたやろ。霊界人がおると思わんかつたら解釈できへんで。

お爺が入つた時は、タバコを吸うねん。西洋マツチくれ言うてな、ライターのことや(笑)。かあさん お爺やつたら年寄りらしい声やし、坊やつたら、かわいらしい子供の声やねん。

お便所に行きとうなつたら、お爺なり坊なりが連れていくんやわ。坊はな、時によつたらパーッと抜けてしまふんや。クニヤクニヤになるやろ。

そしたら、飼うてる猫が顔をなめたり、噛んで引っぱつたりして助けるねん。その内にまた坊が戻つてきて入つて、ベッドまで連れていくんや。

亡くなる一週間前位かな、その小さい女の子を連れて、いつも行くお寺へタクシーで行つて、自分の死んだ時のいろんなことを、ちゃんとやうて帰つてきはつてん。

法主 これは記録を取つておかなあかんと思つてね、妹さんに是非一度遊びに来イやと言うてるんやけどね。(※その後この記録が、平成3年11月号と平成4年2月号の『とおやまと』紙に、「笠井久枝さんについての摩訶不思議な憑依の現象」のタイトルで掲載されています)

かあさん その妹さんがね、誰かに聞いて、うちに来はつたの。まあ不思議な姉さんやろ。方々尋ねて歩いてけど、自分が会得できるような説明を聞かせてくれるところがどこにも無かつたやうで。

杉本志津女 憑かつてはるのは親戚の人? 全く他人さん?

法主 そうやな、何か関係あるんやろな。

かあさん いろいろ聞いたけど、忘れてしもたな。

法主 私の経験したので他にはね、だいた昔の話やけど、うちの年寄りがどうしても死なない、死ぬように祈禱してもらえないかつて頼まれたことあねん。大和の南の方の人やつたわ。

ということはね、医者が診たら脈も何にもない

し、もう死んでるの。それやのに何日経っても、もの言うて動くので、気持ち悪うて葬式できへんと言うのや（「へー」の声）。

かあさん あれ、暮れに近かったわ。

志津女 私も覚えてる。

法主 私が見てやったらね、体の中に、低級な動物霊が入っててん。それが体を動かしよんねん。さっきの話と一緒に。だから、ちよいとその動物霊を抜いてやったの。そら死骸は臭つてくるわ、正月近いわ、お陰さまで死にましたと礼を言いに来たわ（爆笑）。そんなこともあるんやで。

坂口医師 自分の霊というのは、生まれてすぐできるんですか？ 霊性がありますか？

法主 はい、受胎した時に霊魂が入ります。それで、ある程度成長して本当の霊魂の形になってくるのは、やっぱり三月かかるわな。

だから、うちにも堕ろしていいかとか、やっぱり怖いんやね、よう相談に来はるけどね。三月までは、まだ霊が働いてない。四九月、五九月になると一人前の霊の働きがあるわ。

A 水子ですか？

法主 そや。水子かて霊魂あるのや。霊魂そのものは、だんだん一人前の人間になっていくだけの要素を、すでに受胎した時には持つてるの。けどほんまの肉体と霊の関係は、三月過ぎんことにはハッキリしたものが出来ないわ。

法主様に尋ねるあれこれ

A 人間が亡くなる時に、その霊魂はどんなになるんですか？

法主 宇宙の中や。

A ブーツと入って行くわけですか？

法主 入って行く。けれども一つの形、相とか、霊魂の波長とかが残ってるの。電波のように、そ

れはもう、通達無碍つうたつむげという言葉を使うけれど遍満へんまんしているんや。だからここで、柴地なら柴地と思つたらすぐ瞬間に、柴地と通ずるわけや。思うことは、一つの念やからね。

A うちの父が亡くなった時ですが、私は、あつ月曜日ぐらいかなという感じがして、ちよと月曜日に亡くなつたんですね。その朝、ドーンと何か落ちるみたいな音がして、それから二時間位して亡くなつたんです。そういうのは何か意味があるんでしょうか？

法主 そんな現象出るよ。私の嫁さん（妙月かあさん）が死んだ時、六日に死んだんやけど、一日の朝やつたかな、枕元のガラスの吸い飲みが、ピーンと響いて割れたわ。その時、もうあかんと思つたもの。そんな時はもうどんな名医が来たかてあかん。一日、二日延ばすかもしれんけど。

A ヒトダマって言いますよね。ヒノタマとか。それは霊が出て行ってる？ 霊が燃えてる？

法主 みんな言うてるね。人によつてはヒノタマに見えるのかもしれないけれど、私は見たことない。そら肉体がボタンと死んでるから抜けるんやけれどもね。私が見ていたら、まだ物を言うてたかて霊魂は抜ける場合がよあるよ。うちの母親の時でも、まだ呼吸してたから人工呼吸やとか注射やとかしてはつたけれど、私が見るともう抜けてたもの。だからもうそんなことせんといてと言つたんや。十分や二十分、命が延びたかて本人が苦しむだけやから、もうそつと静かに送つてやつた方がええなと思つてん。肉体がもう、霊魂の働きのできない状態になつてるんやな。

けれどもね、本質的な霊魂が肉体から離れたとしてもね、部分的な細胞の中の霊とか生命体は生きてるんやで。死んでからでも髪の毛や爪が伸びるよ。だから昔の人は土葬にしたわけや。全

部腐つてしまふまでは、ほんまに死んだことにならへん。火葬にしてしまつたらしまいやけどな。

A ヒトダマが、その家に入つたら子供が生まれるとか何とか……ほんまですか？

法主 それは知らんわ、経験ないわ。

かあさん 印でも付いてたら、ああやつぱりあの人生まれ変わりがつて分かるけどなあ（笑）。

法主 生まれ変わりと言うたら、例えば徳川家康でもええがな、その人が今度生まれてきた子に入つて生まれ変わったという感覚をみんな持つや。けれども私が見ておつたら、そういう意味の生まれ変わりは全然無いよ。そういうのでなくて、仮に徳川家康が死ぬ時、いろんな現世に対しての思惑とか念とかがあつたら、その心を受け継ぐ人間ができる場合はあるんや。

それが背後霊になるんやな。だからその人が徳川家康みたいな心境になることはあるけど、家康が即こつちへ移り変わるのとはちがうねん。もし移り変わつたら、霊界にもう家康の霊魂は無いはずやねんけど、在るんやな。だから、その人の使命を受け継ぐことを、生まれ変わりとて言葉で表現するのかなと、私は解釈してるんやけどね。

A あの、私は十一月生まれなので背後霊は大日如来さんだとか聞いたんですが、それってどういふふうなことでしょうか？

法主 あんなん、人間が勝手に決めよつたんやろ。

B 背後霊つて、一人一人に必ずあるんですか？

法主 先祖さんの霊は、皆付いてるがな。自分自身の細胞や血液の中に、先祖さんの心が通じておるんやから。

A テレビなんかでね、お宅のそのフランス人形が守護霊さんだからちゃんと拝みなさいとか言つてるでしょ、ああいうのは？

法主 そりゃあ、たまにはあるやろけど、全てと

は言われへん。そんなが流行りなんやな。

先祖さんは皆に付いてるわ。

特殊なお役目を持って仕事をする人には、それをさせるような背後霊が付くねんな。私の場合、正直なところ、聖徳太子の仕事をせんなんのや。それがね、見える人が見たら聖徳太子が背後霊やと言わうわけや。

英国のコックスさんという女の人がここへ来たことあんねけど、それ見抜きはったわ。お尻のことついで人やつたけど(笑)。

志津女 でも感じのいい人やつたよ。

法主 ええ人やつた。英国に交霊会というのがあってね、そんなもんを国が認めておるんやてね。交霊会の広告のぎょうさん載った新聞を見せてくれたわ。例えば病院におる患者さんが、どこそこの誰に今夜八時に拝んでもらうと言うと、お医者さんは皆引き上げて触らへんのやて。

コックスさんは、神憑りの中で日本に行けと言われたんやて。日本に宗教人がおるって。日本の神道は大本教しか知らんかったので、大本教のところ(京都府綾部市)におつただけれども、神さんからのメッセージではそこ違うと言われたらしい。そうこうしている時、大倭の話聞いて、コックスさんが祈ってみたら、そこやと言われてうちへ来はつたんやて。大学のインド哲学の先生やとか大勢一緒に付いて来はつたわ。

昔の拝殿で会うてね、私が「初めまして」と挨拶したら、初めてとちがいます、もう何回もお目にかかっている、お顔も分かってたと言うんや。大倭のこの姿、鏡池とか朽ちたような拝殿とか、みんな映ってたて。

それから何回か来てくれた。神戸で体に良い食べ物を買って来て、一日でも長生きしてもらわんといかん言うてね、カバンから出して

自分でこしらえて私に食べさせてくれるんやで。拝殿と一緒にご飯食べたなりな。その時、私の後ろを見ていると聖徳太子が出てくると言うてたわ。「これで私も目的を果たしました」と言うてはつたけど。

かあさん 綾部におつて、もう分かんへんし帰ろうと思つた時、ツバメはまだ帰つて来る時とちがう、羽を休めて……とかいいうメッセージが来たんやて。それでもう少し日本におれということやと思つたて言うてはつたわ。

あの頃は、霊能者いふんかいりるな人がよう来はつたね。

法主 こんな種類もあるというのを勉強させてくれたんや。女の修験者が行力比べをしたこともあんなね。両方でえらい気合いかけて祈るねん。私が審判や。

かあさん 天照大神の生まれ変わりもおつたな。

法主 聖徳太子の生まれ変わりの子を産んだ人も来たしな(笑)。

A 先祖さんでもどうしようもない人がいて、普通の人間ではまづれないって読んだことがあるんですが……。こつちが浄化していないと逆にやられてしまうみたいな。

法主 能力がない人がやつたらその通りや。それでどうにもしようがない人が、私のところに来る場合が多いねん。自慢してるみたいになるけどな、私は行をしたわけでもないし、生まれつきさういふお役目を持つてきているからや。世間の拝み屋さんは行をして位もろたりして祈祷してはるんやけど、低級霊ほど力が強いからね、なかなか難しいわ。

先祖さんは人間やけど、あまり出来のいい人やなかつたら低級霊の仲間入りせんなんわな。そんなん回向供養したかて全然通じへん。世間並み

の坊さんに、なんぼお経をあげてもらたかて何にもならへん。

A ほな法主さんが亡くなつたら、どないしたらええの(笑)。多分、私の方が長生きするやろし、代わりになる人は?

法主 そんなこと知らんわ。どないするか責任あらへんしな(笑)。

A 法主さんが居てはるから本物が二セモノかとか聞けるけど、私ら分かんへんものね。

法主 何とかなるわ。大倭に適任者が居らんかつたら、他所からポーンと入つて来るかも、それは分かん。これだけは皆、お役目を持って生まれるんやから。

私の母親なんかでも、今の広瀬町で生まれて、うちの家へ嫁入りしてるとんやからね。必要だからそうなるんやと思うわ。

神さんの仕事やから誰がなつてくれるのやら分からんけども、そんな心配いらん。

A 法主様でも、時が流れてみないと分かんないわけですか。ほんまはある程度は分かつてはるんじやないんですか(笑)。

法主 分からん、分からん(笑)。

A よう何月何日に地震が起るとか、予言する人がいますが、あんなのは?

法主 最近、八尾市の方でそんな予言した人あつたんとちがうか。結局、何にも起こらんへんかつたわな。あの先生、どないしはつたんやろ。

杉本順一 教団を解散したさうですよ、もう宗教者として資格がないと言うて。それ聞いて筋通つてると思つたわ。逆に、それまでに言うたことは信じられるのちがうかな。

法主 そうや、そうや。というのはね、必ず低級霊を使うと思うねん、それを自分の守護霊だと思つて。いついつ病気になるとか交通事故起こ

るとか、そんな程度のことには当てるんやな。けど自然現象についてはそうはいかん。

私の場合、いつ地震が起るかとか聞いても、時間がきたら分かる問題でしょ、そんなことに対しては、答える必要ないと言われるねん。前もって分かったかて何にもならん、動揺するだけや。地震で死ぬ人はそこまでの寿命やし、助かる人はどんなんでも助かるんやし。

B 私の兄が、病気とか大怪我で三回も死にかけてるんですよ。でも助かって今、元気にしています。こういうのって悪運が強いんですか？

法主 悪運というより、生きていく宿命やな。きつと前の世の時に、まあ戦争とかでそんな目にあつてきた人の念を受けているのかわからんね。それは自分で持つてるものでそうなるんやけどね。

B 前に父のことを見てもらつたんですが。

法主 そうやつたかな。どう言うたんか忘れた。B 父が急に夢に出てくるんですが、何か言いたいことあるのかなと思つて……今まで出てこなかつたのに。それでお墓にお参りに行つたら、お墓に吸い寄せられるような感じがするんです。

法主 そんな場合はね、自分から呼ぶような気が持てるんや。

B ああ、多分、あると思います。

法主 それと一致するので、出てくるんやな。かあさん だからやつぱり、あなたのことを気にしてはるんやろ。

法主 あなたの結婚のことやろけどのう(笑)。もう十一時か。たまには皆、こんな変わった世界の話もええやろ。

A 一度、法主さんの話をゆつくり聞きたいと思つてました。今日はよかつた。

志津女 それでは今日は終わりましたか。どなたもお疲れさまでした。

平成13年11月11日 大倭会文化講演会 於：大倭大本宮拝殿

アニミズムの世界 —沖繩・龍神… (7)

—故山尾三省さんを偲びつ—

講師 野本三吉氏

地球母神・龍神

そしてこの後が恐いのです。ぼく自身あれから三十何年何をしてきたかということが問われているんです。

比嘉ハツさんはこうも言われたんです。

今、世の中たいへんなときですよ。自分一人の損得ばかり考えておつたら、地球が減んでしまうかどうかの瀬戸際ですよ。地球母神が救えるかどうかもう時間が迫っていますよ。この女が二十年かけてやってきたこと、その意味わかつてくださいよ。私一人のことならなくてこんな苦労しますかね。母はすべてのものの母ですよ。障害を持った子、病気の子をほっておかれますかね。一人一人に与えられた魂のはたらきがあるのですからね。自分の周りの誤つたやり方を変えねばなりません。汚し、きたないものをためておくから、病気が生まれ罪が生まれるのですよ。

天地一切、河川草木、全ての自然の恵みを受け、それを利用していただいているのに、人間はその恩を忘れて、使い捨て、踏みにしていくんですよ。地球母神は我慢に我慢を重ねておられるけれど、もう限度ですよ。

沖繩はね、地球の火山の源と結びついておるのですよ。この島の洞窟も地球の中心と結びついて

いる風穴なんですよ。風が通って、火山のもとを冷やしていますよ。これが地球母の陰部ですよ。洞窟は地球の陰部ですよ。そこを汚し、詰まらせておいたらどうなりますかね。

海や川は地球母神の血ですよ、血液ですよ。ここを汚しておつたらどうなりますかね。わかってください、大事なことですよ。

老人、病人、犯罪者、これを一箇所に集めて死ぬまで入れておくのはちり捨てと同じじゃないですか。刑務所、老人ホーム、精神病病院、みな人間のゴミ捨て場と同じですよ。そんなことするから、そこからまた蛆がわきますよ。そんなものは無くして、周りの人がきれいになっていかなくちやならないでしょ。この道理、学問、身分、金のある人にはわからん。平気でちり捨てする人は、人間のちり捨ても平気。これ、わかってくださいよ。この世はみな平等である。みな尊いものである。汗して働く農民、漁民、みんな尊い。この人は自分一人のために働いているのではないですよ。世界の人達の命を預かっている。万民の生みの親、魂の親として働いているのでしよう。金持ちが偉いのではないのですよ。人間を馬鹿にする人間は今に農民や漁民に頭を下げる時代が来るのですよ。

これは法主様がおつしゃつたことと、もう寸分違わないと思うのですが、ハツさんという女性がまた違った視点から一つのことをやってこられたというふうにあります。

そして、これが今日の龍神のお話とつなげることで、これから、これだけ言つて沖繩のことは整理したいと思えます。

深い洞窟に入った時に、ハツさんが神がかつつてうたつてくれました。これはおそらく全部フリー

ソングです。祝詞をあげるときも何も書いてない
白い紙を持っていろいろなことを言いだすんです。
書いたものを読んでいらないではないんです。
その時、巫女さんたちがみんな泣き始めまし
ね、みんなのすすり泣きが聞こえる中で話がしま
るんですが、洞窟の中だと思つて下さい。

誰が知るか、母の産みの苦しみを
誰が知るか、生んだわが子を育てられぬ歯がゆ
さを

木トを焼かれた母は、国を追われて死出の旅
流れ流れて南の国へ

母は沈んで南の国へ
二目とみられぬ醜い姿と成り果てて

母は根の国、底の国
押し込められて、姿は出せぬ

母は隠れて岩戸の中に
母は忍んで岩戸の底に

ここだここだと知らせてみても
わが子はわが身を恐ろしがって

誰も近くへはやってこない
それもそうなりわが身はいつか

恐ろし醜し、龍の姿となって
そのもの醜し、地獄の鬼よ

《田んぼ通信》

脱穀と収穫祭のご案内

11月4日(振替休日) 10時から田んぼで脱穀をし
ます。その後、大倭会館で昼食(こちらで用意し
ます)。

11月23日(祝) 新しいお米で拝殿にお餅をお供え
した後、12時より大倭会館で昼食会(赤飯)をし
ます。どうぞごなたでもご参加下さい。

一度たずねた夫も逃げて
千曳の岩にて道をばささぐ
ましてわが子は母とは知らず

あれは恐ろし地獄の鬼と
あれは醜き邪悪の蛇と

われを踏みつけ近づかぬ
長かったぞえ、この年月

どんなに待っていたことか
この日この時、涙もかれて

母はおもてに現れぬ
龍神おもてに、今こそ立つぞ

地上母神、地上に立ちて
今こそ治めん戦の世をば

今こそたださん我利我利亡者
長かったぞえ、わが苦しみ

ぼくは絶対忘れちゃいけないと思つたものです
から、出てからこれを書かせてもらつたんです。
出てきてから巫女さん達がみんな踊りまくって
いましてね、「今夜は龍神さんのうれし泣きじや
い」と言つてみんな男の方達も喜んでおられたん
ですね。

これがまあ沖縄での三十数年前の経験の一部で
す。断続しますけれど、約六ヶ月間ぼくはそこに
いました。

(続)

表紙写真について

山尾三省さんが亡くなって一年後の去る八月二
十八日、屋久島での「山尾三省さんを偲ぶ会」に、
岸田哲さん一家、高橋良美・見田瑛子さん、松本
モトさん等の邑人が参加されました。折からの台
風15号直撃で飛行機が欠航、やむなく屋久島滞在
が長びくというおまけもありました。その時の写
真が皆さんのところへ送られてきたので、その中
から選ばせてもらうことにしました。(編集部)

こだまことだま

四日市市 中村勝彦

日元さん、お葉書ありがとうございました。久
し振りに親会に参加して、皆様の真摯な心に触れ、
私は何か元気になりました。

とはいいますものの、「自己本霊」「奈母太加天
腹」「霊体」等、話し合つても本当のところは「
」というのが実体ではないでしょうか。ただ、私と
しては腑に落ちることもありました。

法主様はよく「わけへだてのない心」「優越感
も劣等感ももたない心がまえ」の大切さを説かれ
ました。「優越意識」や「劣等意識」から、苦が
生まれること。結局、腹の立たない人間になると
は、「優越感」や「劣等感」をもたない人間にな
ること、「みんな仲良うしいや」とは、このよう
な心がまえの人間にならなさいということでは。

そしてこのような人間になつた時、あるいは近づ
いた時、その人の自己本霊(大加美の分け霊)が
最大限にあらわれるのでは?

そのような「腹の立たない人間」が唱える「奈
母太加天腹」という言葉こそが、真の浄霊波とな
つて宇宙に響き渡り、真の平和運動になる、と法
主様はいわれているのかな?と一人納得した次第
です。

しかしこのような観方も、盲目の者が巨象を杖
でさわつて「ああでもない」「こうでもない」と
いつている類で、本当のところはつかみきれてい
ないのでしょうか。私にしたら、あるのかないのか、
わからないのが本当のところでは。しかし、「腹
の立たない人間になる」「みんな仲良うしいや」
というのは、簡単なようでむつかしく、浅いよう
で深い、個人の行動基準になりうるのではないか
と思いました。 拍手合掌(平成14年9月11日)

こもれる魂魄の地をたずねて(十二)

ワノヒカリ 聖徳太子 追討記

平成14年5月26日

杉本 順一

物部守屋

今年二月、大阪市で聖徳太子展が開かれた。

この時、一本の鎬矢かぶらやが展示されていたのを見られた方も多いと思う。

この矢こそ、五八七年(用明二年)、日本古来の神々を拜してきた物部守屋等の側と、崇仏派であった戸皇子(聖徳太子)や蘇我馬子等との戦に使われたものという。

この時この矢で、物部守屋を射倒したのが、聖徳太子に従って共に戦った矢追家の遠祖、迹見赤禰とみみであるという。(いきなり話はそれるが、この事を記念して大倭神宮の中門に鎬矢が作られている)

ことは、この聖徳太子展を見に行かれた女性(仮に谷村さんとしておく)の相談から始まった。

彼女は聖徳太子展を見に行ってきたあと、体に不調を感じはじめていたそう。とにかく体のことだから病院に行き、色々と調べてもらったが原因が見つからず困っていたということだった。

何日たっても良くならないので、ひよつとして別の原因でもあるのだろうかと思つて相談に来られた。体は大変つらそうであった。

病院で充分検査をされたのか、病院での経過を確かめてもみた。そのあと、最近どこかに行つて来られたかと聞いてみた。

聖徳太子展に行ってきたという。友達が行つていて、共通の話題にしかつたのでとのこと。そんな話をしていると、なぜか物部守屋の想念

が、くり返しくり返し脳裏をかすめる。ついには肚にずしんと感じるものがある、守屋さんの強い想念を感じた。これは物部守屋さんを鎮魂、慰霊するほかはないと心を決めた。

どこに行つて慰霊のお参りをすれば良いのか分からなかつたので、先ず二六庵(自宅)で物部守屋さんのお膳を作り、大倭太加天腹に入れるように鎮魂した。

毎年四月十五日、大倭神宮では矢追家の先祖をまつる箭負祭を執り行つているが、その先祖の一人に倒された物部守屋が、こんななりゆきで出てこられるとは想像もしなかつた。

調べていくうち、大阪の八尾市に聖徳太子をまつる大聖勝軍寺があり、そこから五十メートル位の所に物部守屋さんのお墓があると分かる。

このあとすぐ、谷村さんは夫と二人で、このお墓に行つて来られたそうである。

谷村夫妻に連れられて、慰霊に行くことになつた。

五月二十六日、出発を前にいつも通り拝殿で朝のお参りをした。拝殿では法主様の左側にお社のある奇稲田姫命さんにお参りするのも私のパターンである。ここで、今まで感じたことのない奇稲田姫さんの強い強い想念が肚にきた。

ただ三言。「ワノヒカリ」「ワノヒカリ」「ワノヒカリ」であった。法主様がいつも言われていた「みな仲良うしいや」と同じ心であることは分かる。

崇仏派と排仏派の対立の歴史がすぐに浮かんできた。拝殿正面右側の聖徳太子の絵の下でも、この日の出発の挨拶をする。

初めて聖徳太子さんの言葉が私の心に届いてきた。(法主様の感じとは、どこか違つていた)

太子さんは「ワツシヨノコト ヨロシクタノム」「ヨロズノコト タノム」とのことであった。先の一言はいつもの事と同じであるから分かつたが、次の言葉が分からない。

「ヨロズ?」

すべての意味か? 分からないなあ!と思いつつ、いつものお参りの順番で拝殿の庇に出たところで、鳥取部萬の「よろず」と気が付いた。

暑いくらいのこの日、私達は車で八尾の太子堂を目指した。

なるほど、戦に勝つた側の聖徳太子は大聖勝軍寺として今日まで大きく形を残していた。

そこからわずかの所に、「大連物部守屋墳墓」と石に刻まれて、目的の墓はあった。国道25号線であるが、行く人は誰も気付かないかと思われるような所である。

勝者、敗者の差がはつきりしていた。勝敗をこえる「和の光」を思いながら、そこで物部の御一統と屋敷をいただいた。

この夜十時頃、いつものように拝殿でお参りを終えて東方の碑あたりに来ると、明るい満月の光が照つていたが、生駒山の向こうは、どす黒い空でものすごい稲光りと雷鳴が鳴り響いていた。その頃、すごい雷が降つていたら、明るる朝の新聞で知つた。

守屋さんに言われた御一統の方達の慰霊のことを思い、次には鳥取部萬さんをお訪ねすることも考えた。

あじさい日誌

9月10日 東京の浅井桂さんが来邑して一泊。民族文化映像研究所でお仕事の由。

9月11日 これからの日本のために、また新しい共同体を目指したいという村上憲次さんが来邑されました。

9月15日 大倭神宮月次祭。

祭典後、その場で誘ってもらって昇ちゃんはお家へお呼ばれ！尊孔さんのお家へお呼ばれ！夜、車掌さんに頼んでもらい無事一人で帰ってきました。

9月17日 「あじさいの箱」では秋冬の衣類、手作りの「かぐや姫」と名付けた竹炭粉の小袋や紀州手まりのストラップ等で募金の売り出しを始めました。

9月21日 夜、大倭会館で大倭町住人に対して、来年度後半頃から本格化する菅原園の改・増築工事について、県の担当者も来られ説明会がありました。

夜、交流の家でF.I.W.C.の定例委員会。委員長劉成道君が韓国に留学することになり、藤山恭子・志賀純子さんが委員長代理とのこと。代理ですがF.I.W.C.史上初の女性委員長です。

9月23日 大倭大本宮月次祭。連休で、泊りがけでお参りされる方がありました。群馬県安中市の新皇教宮関係の馬場美佐子・石川千鶴子・桜井節子さん姉妹と桜井さんの娘の誓子さん。八王子市の荻島千明さん。

舞鶴市の藤本宏秋・早苗夫妻。6月に生まれた夫妻の長女、天音ちゃんがお目見えしました。また前述の村上憲次さんも来ておられました。

9月24、25日 和歌山の中健次郎・暢子夫妻とその気功のグループ7人の皆さんが近くで合宿をされたあと、林修三さんも交え、邑に立ち寄られました。教務所で青山日元さんと歓談。その夜は交流の家泊。

9月26夜、30日 杉本順一は、九州の宇佐神宮と御許山、阿蘇神社、阿蘇山上神社、幣立神宮、草部吉見神社、高千穂神社等を参拝してきました。杉本志津女、岸田哲・文子夫妻、高橋良美・見田瑛子夫妻、藤田啓子さん、松本モトさん、山崎正知・波留茂夫妻が同行。

宇佐神宮では、耶馬溪の鈴木健久・三浦豊子夫妻、福岡の藤田敬能さん、東京の濱崎加奈子さんが合流。

幣立神宮ではこの2月に大倭に来られた春木伸哉宮司は所用で不在でしたが（夜、宿でお会いする）、幣立神宮裏の楠林衛さん、水俣の高倉敦子さん、屋久島から手塚賢至・田津子一家4人もかけつけてくれました。

道中藤栗毛（我々の場合、車でしたが）のお話は、またの機会に……。大倭安宿苑では、

大倭安宿苑文化祭

日程：平成14年11月2・3日

作品展：2日間とも午前10時から 茂毛菴園で

以下は3日のみ、あすか広場で

概観は 11:00～ バザー 10:30～
老人介護相談コーナー 10:30～
アトラクション 13:40～

不用品バザーの寄贈をお願いします。
お問い合わせは大倭安宿苑事務局
TEL 0742-48-3221

家族みんなで見る日本の伝統芸能 第9回 備中神楽

とき 平成14年11月30日(土) 午後6時半～8時半

ところ 大倭拝殿

演目 猿田彦の舞 八またのオロチの舞 他

出演 備中神楽成羽保存会

入場料 無料(花代大歓迎)

世話人 湯浅晴子 平谷照子 有志一同
お問い合わせは 電話 0742-48-3389

9月15日 皆で住本静子さんの白寿のお祝いをしました。

9月25日 句会。「句の道は遠く」にありし花桔梗」「虫すだく夜を繻く山頭火」「稜線や遙か向こうの罫雲」

9月20日 夕方より中庭で、10月6日 大倭神宮月次祭。

9月27日 運動会を「運動の日」と名前を変え内容もリニューアル。

9月27日 運動会を「運動の日」と名前を変え内容もリニューアル。

9月27日 運動会を「運動の日」と名前を変え内容もリニューアル。

11月6日(水) 大倭神宮にて午後2時より。
* 月次祭(大倭神宮)

11月10日(日) 文化講演会として行われます。詳しくは右欄をご覧ください。

11月15日(金) 大倭神宮にて午後2時より。
* 月次祭(大倭神宮)

11月23日(祝) 大倭大本宮拝殿にて午後2時より。
* 月次祭(大倭大本宮)

9月12日 岡本幸野さんが白寿(99歳)のお祝いを総務大臣代理の奈良西郵便局長さんから手渡されました。

9月15日 1階のあじさい広場で誕生会と敬老の集い。午後には新人職員「水戸黄門」の合唱やフラメンコ、家族の会から三味線や鳴子踊りのだし物があり賑やかに演芸会をしました。

9月12日 岡本幸野さんが白寿(99歳)のお祝いを総務大臣代理の奈良西郵便局長さんから手渡されました。

9月12日 岡本幸野さんが白寿(99歳)のお祝いを総務大臣代理の奈良西郵便局長さんから手渡されました。

9月12日 岡本幸野さんが白寿(99歳)のお祝いを総務大臣代理の奈良西郵便局長さんから手渡されました。

第14回 大倭会文化講演会

講師 鶴見俊輔氏
テーマ 「大倭で考えること」

日時 平成14年11月10日(日) 午後2時より

場所 大倭紫陽花邑 拝殿
※ 講演会終了後、大倭会館にて懇親会
懇親会会費 1,000円

講師プロフィール 1922年、東京生まれ。哲学者で平和運動家。「思想の科学」運動の提唱者の一人。アメリカのハーバード大学哲学科で学んだあと、京都大学、東京工業大学、同志社大学等で教職につく。独創的な発想と広い人脈で、たくさんの人達に影響を与えている。「交流の家」建設運動のきっかけになった方で、大倭とのかかわりも深い。

あんない